

単施設用

(研究) 実施についてのお知らせ

令和 7 年 5 月 8 日

【研究課題名】 当院で経験した帽状腱膜下血腫についての検討

【研究期間】 承認日～2025 年 12 月 31 日

【研究対象】 2015 年 12 月～2024 年 11 月に当院に入院した症例のうち帽状腱膜下血腫と診断された症例

【研究目的・意義】 帽状腱膜下血腫の殆どは、吸引分娩や鉗子分娩後に発症する。帽状腱膜と頭蓋骨膜の間隙は結合が疎なため、出血が生じると頭部全体に出血が広がり、出血性ショックや死亡に至ることもあるため、帽状腱膜下血腫は診断や管理に注意を要する。今回、当院に入院した帽状腱膜下血腫の症例に関して後方視的研究を行い、診断や管理の方法を検討する。

【研究方法】 以下の項目について診療録を用いて後方視的に検討した。

① 分娩時の状況（出生場所、経産婦、分娩方法、吸引回数）と診断までの時間

②Criteria determining the severity of SGH from Chadwick.et.al を用いて重症度を軽症、中等症、重症に分類し、入院時検査所見、頭囲、光線療法、電解質輸液や輸血、転帰を比較した。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

情報：対象者の在胎週数、出生場所、出生体重、頭囲、入院期間、血液検査の結果、行った治療、転帰など

【試料・情報の二次利用】 現時点では予定していない

【個人情報の取扱い】 研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守する。また関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らさない。関係者がその職を退いた後も同様とする。研究責任者および研究担当者は、症例登録の際には、独自の登録番号を用いて、当該医療機関以外のものが研究対象者を特定できる情報（氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号等）は記載しない。また、研究で得られた情報を公表する際には、研究対象者が特定できないよう十分に配慮する。

【本研究の資金源（利益相反）】 本研究には利益相反はありません

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名：新生児内科 担当者名：木里頼子

沖縄県うるま市字宮里 281 番地

TEL：098-973-4111（代表）

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先にお問い合わせください。